

一 般 質 問 通 告 事 項

(令和2年第1回白岡市議会定例会)

第1通告者

16番 石原富子 議員

1 市の防災対策について

大規模災害での避難と救援物資の受入れなど、災害が起きるとすぐに対処しなければならないことが多数ある。想定はどうか。

(1) 市内に避難所は16か所あるが、何人の被災者を受け入れる想定になっているか。

ア 各避難所ごとの人数

イ 全体数

(2) 大震災が発生して多くの避難者が出た場合、現在の避難所だけでは不足する危険性がある。第2次、第3次の避難所を設定しておく必要があると思うが、どう考えるか。

(3) 新潟県中越地震の際、小千谷市では避難者が人口の62%の26,000人になった。同様の事態になった場合、当市の受入れはどうするか。

(4) 支援物資の輸送のために、物流の専門業者と事前に協定を結び、支援物資輸送の訓練をしておく必要があるが、どの程度進んでいるか。

(5) ボランティアの受入れはどのように想定しているか。

2 フードドライブの取組について

食品ロスの削減は世界的な課題として注目されている。まだ食べられるのに捨ててしまう量は、国内で年間646万トンにも上る。食品ロスを削減し、必要としている家庭に寄付する目的のフードドライブが全国的な展開を広げている。白岡市でも取り組んではどうか。

(1) 市はこの取組の必要性をどのようにとらえているか。

(2) 白岡市の食品ロス削減のための取組はどうなっているか。

(3) 食品ロスの観点と生活困窮者への支援策としてのフードドライブを実施してはどうか。

- (4) 白岡まつりやわんぱく商店街の日程に合わせて行ってみたいかがか。

第2通告者

11番 中川幸廣 議員

1 水道事業と下水道事業・農業集落排水事業の今後について

(1) 水道事業について

ア 既設の水道管の状況と今後の対応について。

イ 建設仮勘定とは。

ウ スタッフの人数は不足ではないのか。

エ 今後の収支の問題。

(2) 下水道事業・農業集落排水事業について

ア 今後、懸念される問題はないか。

2 多胎児育児の支援事業について

(1) 市内には就学前の多胎児が何人いるのか。

(2) 白岡市には「多胎児育児支援事業」はあるのか。

(3) 既に、国会の場で「多胎児育児支援事業」について討議されているが、白岡市の今後の対応は。

3 白岡高等学校を「中高一貫校」として実現させる活動としては

(1) 県内外の「中高一貫校」の現状は。

(2) 公立の「中高一貫校」の方が、私立の「中高一貫校」よりメリットがあるのでは。

ア 中学・高校と3年・3年ではなく6年間という継続的な時間の方が、教育としてはメリットがあるのでは。

イ 学費の面でも、私立の「中高一貫校」に比較し、公立の「中高一貫校」の方が保護者にとり負担が少ないと言われているが、一般的にどうなのか。

(3) 市の発展のためにも、白岡高等学校を「中高一貫校」にすべきと考えるが。

第3通告者

15番 遠藤 誠 議員

1 白岡中学校周辺の開発について

(1) 12月4日の役員会の状況等について、説明内容は。

- (2) 例えば先行商業モールの事業主体、でき方について。
- (3) この事業の目論見（事業の終結）について。
- (4) 地権者の認識について。

2 大山地区、特に皿沼について

- (1) 人口維持策で人口は維持できるのか。
- (2) 開発について県が各市1事業というのは何なのか。その根拠は。
- (3) 県の方針に照らすと皿沼のほうが白岡中周辺より進捗していると思えるが、また今開発に手を付けないと時機を失するのではないか。

3 委員会等の傍聴について

- (1) 傍聴をどうとらえているのか。
- (2) 例えば、農業委員会の傍聴資料になぜ会議次第はないのか。
また、転用等の面積はなぜ消すのか。地図はなぜ出せないのか。

第4 通告者

2 番 野々口 眞由美 議員

1 請願について

- (1) 請願第1号「白岡ニュータウン葬儀場建設に関する請願書」が令和元年12月議会において採択されたが、市長はどのように受け止めているのかを伺う。
- (2) その請願内容に対する現在の状況を伺う。
- (3) 採択された請願全般に対する市の姿勢について伺う。

2 新型コロナウイルス肺炎の市民への対応について

- (1) 相談体制はどのようになっているのか。
- (2) 専門機関との連携は。
- (3) 保育所（園）、幼稚園、小中学校等の対応は。
- (4) 市内で開催される人が多く集まるイベントなどへの対応は。
- (5) 市公式ホームページやSNS以外での市民への周知方法は。

第5 通告者

10 番 加藤 一生 議員

1 市の歳入・歳出の状況と市長の今後の市政に対する意志について

- (1) ここ近年の予算における歳入・歳出の状況はどうか。
- (2) その状況をどう考えているか。
- (3) 令和2年度の予算編成にあたって、対外的に何か伝えておく、も

しくは表明しておくことはあるか。

- (4) 今日のこの状況下、市長は今後の市政をいかなる意志を持って遂行していくのか。

2 コミュニティFMの市への誘致について

令和元年9月、12月の定例議会において、「防災の視点」からコミュニティFMの誘致・導入の必要性を述べてきたが、誘致に対し、前向きで迅速かつ具体的な検討・対応を開始してはどうか、市の考えを伺う。

第6 通告者

17番 江原浩之 議員

1 こもれびの森まつりについて

- (1) こもれびの森まつりの実施状況と周知については。
- (2) 今後のこもれびの森まつりの展開をどのようにしていくのか。

2 三ヶ村落堀の浚渫について

- (1) 三ヶ村落堀の現状については。
- (2) 三ヶ村落堀の浚渫について、どのように考えているのか。

第7 通告者

5番 関口昌男 議員

1 マイナンバーの現状と問題点について

- (1) マイナンバーの基本的問題点とその後の経過。
- (2) マイナンバーの交付状況について。
- (3) マイナンバーに係る経費について。
- (4) マイナンバーを巡る事故報告について、
- (5) 自治体職員に対する新しい動きについて。
- (6) 自治体で働く労働組合からの要請と総務省の回答について。
- (7) 2020年4月以降のカードの更新問題について。
- (8) この制度は廃止すべきと考えるが。

2 自転車利用の普及について

- (1) 地球環境問題と埼玉県自転車の安全な利用の促進に関する条例について。
- (2) 自転車保険の加入義務化について。
- (3) 市内の自転車保険加入率の状況は。

- (4) 白岡市のレンタサイクルの状況について。
- (5) 加須市の例から学ぶもの。
- (6) 交通政策としての自転車レンタサイクルの実施について。
- (7) この問題に対する市当局の考えは。

第8 通告者

8 番 菱 沼 あゆ美 議員

1 防災への備えと取組について

- (1) 災害廃棄物のスムーズな収集には、分別が重要である。しかし、災害が起きてからでは周知が難しい。平時から、分別の必要性について啓発していくべきである。パンフレットを作成し配布をしたり、市のホームページなどを活用しては。また、市民が集う様々な機会を捉えて、周知してはどうか。
- (2) 公共施設の井戸の設置の現状は。また、市内の既存の井戸はいくつあるか。市民や事業者などに、災害時協力井戸の登録を働きかけてはどうか。
- (3) 近年の台風や大雨などでは土のうを、どのくらい準備をして、どのように配布したか。作業の負担を削減するためにも、地域のためにも、土のうステーションの設置が必要ではないか。
- (4) 逃げ遅れゼロを目指し、マイタイムラインが有効な手段だが、コミュニティタイムラインも推奨されている。これは、避難行動要支援者の避難個別プランにも役立つと考える。取組の現状と、今後の取組は。
- (5) 避難所について
 - ア 市街化調整区域内の避難所では、携帯トイレから仮設トイレに移ることになると思うが、仮設トイレの搬入や設置はどうなるのか。
 - イ 初動時からベッドの使用が好ましい。ベッドの確保はできているか。例えば、企業と協定を結ぶことを行ってはどうか。
 - ウ 避難所のレイアウトは難しい。建築士などが、各避難所の案をあらかじめ作成し、準備してはどうか。
- (6) 市や地域の防災訓練などで、防災士の活用場を作っていくこと

が必要ではないか。

2 在宅医療・介護について

- (1) 在宅医療・介護の相談状況はどのようになっているか。
- (2) 在宅医療・介護の利用状況は。また、在宅での看取りの状況は把握できているか。それらの傾向はどうなっているか。
- (3) 今後の課題は。市民への更なる周知と啓発が必要ではないか。

3 A E Dの設置と利用促進について

- (1) A E Dを設置している民間事業者などに、誰でも使えるように協力依頼をしていくことは、推進できているか。
- (2) 市のA E D普及推進計画では、優先的に市内郵便局5か所、白岡駅と新白岡駅のJ R管轄外、南彩農業協同組合2か所の設置が記されているが、どうなっているか。
- (3) 救命講習会の受講目標では年間約1 2 0 0人としているが、現状と今後の取組を伺う。

第9 通告者

1 番 中 村 匡 志 議員

1 小中学校の社会科、音楽科及び特別活動における教育について

成人式の国歌斉唱では、斉唱中にもかかわらず新成人から私語や笑い声が聞こえてきて愕然とした。このような国歌斉唱を見たのは初めてである。学習指導要領ではこれら各科において国歌の指導を行うこととされているが、当市の小中学校において指導は正常に行われているのか。

2 自動運転技術の活用等によるバス運行やサポカー等の助成について

- (1) 菁莪地区を中心に、バスの巡回を求める声は根強い。自動運転技術を活用した公共交通はすでに実証実験段階にあるが、本市としての研究・検討状況を伺う。
- (2) 区域を限定してサポカー（衝突被害軽減ブレーキ搭載車）及びサポカーS（安全運転サポート車）に補助金を出してはどうかか。
- (3) 既存のバスと連携してはどうかか。
- (4) 都市計画道路白岡宮代線の延伸にあたり、東武動物公園へのアクセスを意識したバス通りとして整備する考えはあるか。

3 市政アプリの開発について

- (1) 白岡蓮田環境事業協同組合の「ごみ分別アプリ」の開発経緯と権利関係について伺う。
- (2) 「ココシル白岡」の導入経緯と拡張性について伺う。
- (3) これらのアプリの拡張等により、災害・選挙・納税・教育・医療・農政・産業振興・参画と協働・電子申請・例規・史料等の市政全般に亘るアプリを開発してはいかがか。

4 ビッグデータの活用と保護について

- (1) 計画策定・政策立案に際しての当市におけるビッグデータのデータベース化・解析・活用につき、体制と現状を伺う。
- (2) 市の保有する保健情報（特定健診・後期高齢者健診・妊婦健診・乳幼児健診・予防接種等）と医療機関が保有する医療情報（カルテ・レセプト等）の連携により、医療・保健の質や利便性の向上を図ることは可能か。埼玉利根保健医療圏地域医療ネットワークシステム「とねっと」における病病連携・病診連携の現状を踏まえつつ、考えられる問題点や法的・技術的障碍等と併せて答弁されたい。
- (3) 平成30年の次世代医療基盤法の施行により、研究機関等における医療ビッグデータの利活用が容易になった。我が国の医療の発展のために、市の保有する医療ビッグデータを匿名化して提供してはいかがか。
- (4) ビッグデータにおける個人情報データを適正に保護するためには、華為技術有限公司（ファーウェイ）や中興通迅（ZTE）等、アメリカ合衆国2019年国防授權法（NDAA 2019）の対象となる業者の製品を公共調達から排除する必要がある。これまでに、該当製品の調達はあったか。もしあった場合には、廃棄の予定はあるか。
- (5) ハードディスク廃棄の体制について問題はないか。

第10通告者

13番 細井 公 議員

1 観光資源の更なる価値向上について

市内の観光資源は多種多様に揃っている。観光協会も積極的にPRを行っている。市外からの観光客へのイメージアップにつながるため、

主要観光資源としての価値を有すると期待する物件に具体的な価値向上策を取り組む必要があると感じるが、市の考えを伺う。

2 認可保育所の入所の可否発表方法等について

令和2年度分において、電話問合せでの発表を受けた方と郵送で月末に受け取った方には次の変更届をするのに忙しい。郵便の遅配、不達などのリスクもあり、入所の可否発表をインターネット上での発表とし、2次募集に即座に提出できるように保護者の利便性、簡素化などを踏まえた手続きの変更を行うべきと考えるが、市の対策を伺う。

第1 1 通告者

7番 中山 廣子 議員

1 子どものLGBT（性の多様性）について

- (1) 小中学校の教育活動を実施するにあたり、LGBTに関する取組で、心掛けていることや環境整備をどのように行っているか伺う。
- (2) 市の職員・教員の研修は行っているか。研修の内容と、成果はあったか伺う。またそれを踏まえこれからの研修はどのように進めていくか伺う。
- (3) 現在、小中学校でLGBTについて授業を行っているか。どのような授業か伺う。
- (4) 小中学校の児童・生徒・保護者がLGBTのことで相談したいときは、相談窓口はどこになるのか。また、着替えを必要とする授業や宿泊を伴う行事について、配慮はできるか。どのような配慮ができるか伺う。
- (5) 制服をLGBTなど性的少数者への配慮のため、スラックスを導入したり、上着だけの制服にしたり、また水着の形など、自由に選べるようにしてはいかがか。

2 ペット防災について

- (1) 市が掌握しているペットの数は。また、市主催の犬のしつけ方教室にはどのくらいの方が参加していて、どのような内容で行っているのか。現在は飼い主だけのしつけ方教室だということだが、これから先は犬同伴のしつけ方教室を開催する予定はあるか伺う。
- (2) 市主催の犬のしつけ方教室で、ペット防災も学べるようにできな

いか。

- (3) 年に一度、犬は狂犬病ワクチン接種の義務があるために、飼い主は環境課へ来ることになっている。その時に、ペット防災のチラシを配布するようにしてはいかがか。
- (4) 市には動物病院が何軒あるか。非常時に協力をお願いできるように、協力体制を整えるべきと思うが、いかがか。
- (5) 総合防災訓練のメニューにペット防災を入れてはいかがか。それとともに、できるところから、自主防災組織の避難訓練にもペット防災のメニューを入れることを啓発しては、いかがか。

第12通告者

4番 山崎巨裕 議員

1 公文書管理について

- (1) 公文書管理はどのように行われているのか。
- (2) 市民の知る権利とかかわって公文書開示はどのように行われているのか。
- (3) プライバシー保護の視点と情報開示との関連はどうなっているのか。
- (4) 公文書管理の今後の見通しについて伺う。

2 不登校児童生徒について

- (1) 不登校児童生徒の急増についてどうお考えか。
- (2) 市の実態と対策はどうなっているか。
- (3) 校区ごとの対応を手厚くすることが求められていると考えるが、いかがか。
- (4) 県や国に抜本的対策を求めていく必要があると考えるが、いかがか。

第13通告者

6番 松本栄一 議員

1 今後の成人式の開催について

- (1) 2022年4月には、民法改正により成年年齢が18歳に引下げになるが、2022年度の18歳から20歳の各人数はどのくらいか。
- (2) 当市としては、従来どおりに開催するのか。

(3) 成人式を20歳のお祝いとしたとき、18歳でのお祝いをどのように考えるか。

2 当市の住みよさランキングと住み続けたい意識調査について

(1) 住みよさランキングは、4つの観点と22の指標について総合評価をしている。当市は2014年に県内1位となり、その後も上位を保っているが、以降の順位とその要因を何と考えるか。

(2) 市内在住者の「ずっと住み続けたい」「当分の間住み続けたい」の意識が必要と考えるが、いかがか。

(3) 市内在勤者の方からも「住み続けたい街」としての意見・意識調査が必要と考えるが、いかがか。

第14通告者

14番 大島

勉 議員

1 選挙啓発について

(1) 去年は選挙の年であったが、20歳未満の投票率は。

(2) 現在の選挙啓発活動はどうなっているか。

(3) 投票率を上げるため、今後どう考えるか。

2 東京2020パラリンピック聖火リレーについて

(1) 本番までのスケジュールはどうなっているか。

(2) この機会をどう生かすか。

第15通告者

9番 渡辺

聡一郎 議員

1 駅周辺、まちなかのデザインについて

(1) 白岡宮代線の整備効果を最大限発揮し、地域の魅力を向上させていく必要がある。路線開通後の周辺エリアのまちづくりをどのように進めていくか。

(2) 都市計画・区画整理だけでは無機質な街になってしまう。まちなか活性化のためにどのような取組が必要と考えるか。市民・有識者とともにまちづくり計画・まちづくり協議・エリアマネジメント等を進めてはどうか。

(3) 白岡駅西口駅前広場の整備プランについて伺う。現時点でどのようなデザインが用意されているのか。また着実な整備を進めるため、目標設定と管理が必要ではないか。

(4) 国交省は「居心地が良く歩きたくなるまちなか」を目指した市町村の取組を後押ししている。まちなかウォークブル推進プログラムについて、市はどのような見解を持つか。快適な歩行空間や賑わいを生む交流空間の確保、回遊性を高めるまちづくりが必要と考えるが、市の方針を伺う。

2 こもれびの森の運営について

(1) 昨年度の運営費の内訳と入館者総数、館内各施設の利用状況を伺う。

(2) 運営について評価・検証は行われているか。生涯学習センター運営協議会や利用者アンケートではどのような意見が出ているか。またその対応は行われているか。

(3) 人員配置の計画について伺う。専門的知識を有した職員の配置やレファレンスサービスの提供状況等はどのようになっているか。

(4) その他具体的な運営内容について伺う。自主財源の確保や学校・関係各課との連携が必要と考えるが、取組について伺う。

(5) 指定管理者制度導入の方向性について伺う。開館後、検討を行うとのことであったが、その状況を伺う。

第16通告者

12番 藤井 栄一郎 議員

1 公共交通の充実について

(1) 公共交通サービス（のりあい交通）の現状と課題は何か。

(2) さらに充実したのりあい交通にするための取組を、どのように考えているのか。

2 農業振興について

(1) 耕作放棄地の現状、課題をどのようにとらえているのか。

(2) 耕作放棄地の解消に向け、どのような取組をしているのか。

(3) 篠津北東部の耕作放棄地解消に全力で取り組むべきと考えるが、いかがか。景観や環境面から見ても早期解決策を。

第17通告者

3番 斎藤 信治 議員

1 子どもの貧困対策のその後

9月議会での一般質問「子どもの貧困対策を問う」で、「貧困対策計

画を第2期白岡市子ども・子育て支援事業計画に盛り込む」との回答であったが、以下の3点につき不十分ではないかと考える。

- 当事者としての子どもの意見をいかにして聞くのか。
- 貧困対策に関する大綱等を参考に指標を設定すべきでは。
- 指標が意味を成すために、現状調査が必要ではないか。

2 RE100を目指すべきでは

地球温暖化抑止のためにRE100(再生可能エネルギー100%)プロジェクトが始まっている。

- (1) RE100宣言をした自治体がある。当市も目指さないか。
- (2) ソーラーシェアリングを始めないか。エネルギーの地産地消・農地に付加価値をつけ農業を守ることにもつながる。太陽光発電所を作り、市内の電気を100%生産したらいかがか。

3 白岡市スポーツ推進計画を

平成23年にスポーツ基本法が制定され、地方スポーツ推進計画の策定努力を求められているが、市ではいまだ策定されておらず、市のスポーツ施策の方向性が定まっていないと感じられる。

- (1) 白岡市スポーツ推進計画をいつ策定するのか。
- (2) 少子高齢化に伴い、スポーツ少年団や体育協会所属のクラブなどは、会員減少・高齢化しており、クラブの維持に苦勞している。このような現状で、スポーツをする人を増加させるためにどのような方策を考えるか。
- (3) 児童・生徒たちで学校体育以外のスポーツをしない子が多数いる。スポーツのできる、またスポーツをしたくなる環境をどのように構築していくか。
- (4) 総合運動公園などの維持管理ができていない。人口減少・税収減が現実となりつつある。スポーツ施設は、地域の賑わい・コミュニティの創設につながることを考慮して、例えばクラブハウスを作るなどする必要があると思うが、いかがか。
- (5) スポーツ推進委員が進めてきたアダプテッドスポーツ教室は今年度限りで終了する。スポーツ基本計画では、障がい者スポーツの推

進をうたっているが、対応策はあるか。